

動画で魅力を発信

商工会青年部と協働で市をPR

市と市商工会青年部は、摂津市の魅力を発信する摂津市PR動画を作成しました。

商工会青年部がプロデュースしたダンスヴォーカルユニット「f o r s」が出演し、市マスコットキャラクター「セツピイ」を、市内各



動画はこちら

所で検索するストーリーとなっております。

また、星翔高等学校無人航空機研究部がドローンを使った摂津市内の空撮映像に協力してくれました。

市の施策に新たな風を

地域社会の持続的な発展に向けて大阪成蹊学園と連携協定締結



8月6日、市は、大阪成蹊学園（大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学・大阪成蹊短期大学）との連携協力に関する協定を締結しました。

本協定は、人的交流及び知的・物的資源の相互活用により、それぞれの

活動の充実を図るとともに、地域社会の持続的な発展に資することを目的としています。

今後の連携事業は、「LINEオリジナルスタンプの作成」「若い世代を対象とした防災教育用資料の作成」「摂津を代表する商品（菓子・食品）の開発」などを予定しています。

今回の協定締結にあたり森山一正市長は「若者の視点から自由な発想で新しい風を吹き込んでいただきたい」と期待を込めて挨拶しました。

住民自治の意見交換

対話集会で地域と行政がつながる



7月17日、コミュニティプラザで、自治連合会と赤十字奉仕団が主催する「摂津市との対話集会」が開催されました。

市長や両副市長、教育長、市の幹部13人と自治会・町会長69人が参加されました。

「新型コロナウイルスワクチン接種の状況」「水害に強いまちづくり」について市から説明を行い、これらに対する意見交換を行いました。その他、「空き家の管理」や「選挙立会人の選出方法」などについても活発に意見が交わされました。

自治連合会前田会長からは「自治会長の皆さまには新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全安心な自治会運営に努めていただきたいと思います。コロナ禍の今だからこそ、地域で力を合わせていきたいと思います」と挨拶がありました。

森山一正市長は「地域と行政のパイプ役としてご活躍くださっている自治会長の皆さまには、大変感謝しております。この対話集会でのご意見を本市のまちづくりに生かしていきたいと思っております」と挨拶しました。

また、自治会の会長職を長年努められた方々に表彰状や感謝状が贈られました。